

## 済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	妊娠初期の感染性疾患スクリーニングが母子の長期健康保持増進に及ぼす影響に関する多施設共同前向き観察研究
当院の研究責任者	産婦人科 高倉哲司
他の研究機関および各施設の研究責任者	横浜市立大学大学院医学研究科 生殖生育病態医学教授 宮城悦子
本研究の目的	母子の健康への影響が大きい感染性疾患の妊娠初期スクリーニング結果が、妊娠中～分娩後の母子の健康増進に及ぼす効果と自治体の妊婦健診の結果把握や介入の必要性を明らかにすること
調査データ 該当期間	倫理審査承認日～2023年3月31日
研究の方法 (使用する資料等)	研究参加者に、事務局よりウェブサイトでの調査の案内メールを送付、返信を持って1回目の妊婦調査を完了する。以降研究参加施設の医師は研究参加者の医療情報をパスワードがかかったエクセル形式の調査票に記入する。医療施設からは研究参加者の背景情報、今回対象とする疾患のスクリーニング結果、分娩の転帰、母子フォローアップの情報を収集する。生児を得た妊婦に対し、分娩予定日から1年半後にウェブサイトを利用した調査の連絡をEメールで行い、2回目の調査を実施する。
試料・情報の 他の医療機関への提供	研究代表施設への情報提供を行う。
個人情報の取り扱い	調査票には個人の同定可能な情報はない。研究事務局のデータベースは本研究に係わる研究者以外アクセスできないようパスワードをかけ管理・保管する。
本研究に係る資金 (利益相反)	平成30-32年度厚生労働科学補助金健やか次世代育成総合研究事業より支出される。特定の企業・団体への利益や便宜は一切ない。
お問合せ先	0598-51-2626 産婦人科 高倉哲司